

官報號外

大正三年三月七日

議事日程 第十九號 大正三年三月七日

第一 議長候補者ノ選舉	午後一時開議
第二 登錄稅法中改正法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第三 地方學事通則改正法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第四 實業教育費國庫補助法改正法律案(政府提出、貴族院送付)	第一讀會ノ續(委員長)
第五 實用新案法中改正法律案(伊東知也君外一名提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第六 酒造稅法中改正法律案(武富時敏君外二名提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第七 地租條例中改正法律案(高木正年君外三名提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第八 酒造稅法中改正法律案(關直彥君外二名提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第九 地租條例中改正法律案(武富時敏君外一名提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第十 國有土地森林原野下戾法中改正法律案(岡田泰蔵君提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第十一 郡制廢止法律案(菊池武德君提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第十二 過料ニ處セラレタル者ニ對スル裁判ノ執行猶豫ニ關スル法律案(高木益太郎君提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第十三 罷免金拘留及科料ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對スル刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案(高木益太郎君提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第十四 印紙稅法中改正法律案(中小路與平治君外一名提出)	第一讀會
第十五 衆議院議員選舉法中改正法律案(尾崎行雄君提出)	第一讀會
第十六 地租條例中改正法律案(人見米次郎君外一名提出)	第一讀會
第十七 印紙稅法中改正法律案(石橋爲之助君提出)	第一讀會
第十八 印紙稅法中改正法律案(三谷軌秀君外五名提出)	第一讀會
第十九 著作權法中改正法律案(石橋爲之助君外一名提出)	第一讀會

大正三年三月八日

日曜日

印 刷 局

○第三十一回 衆議院議事速記録第二十號

帝國議會

議事日程

大正三年三月七日

午後一時開議

議事日程

大正三年三月七日

第四十四 靖國神社ノ祭日ヲ國ノ祝日トナスノ建議案(清賀太郎君)

第四十五 港務局設置ニ關スル建議案(西村丹治郎君)
外一名提出第四十六 鐵道速成ニ關スル建議案(佐々木文一君)
外二名提出第四十七 飛驒鐵道建設ニ關スル建議案(佐々木文一君)
外三名提出第四十八 航空事業國庫補助ニ關スル建議案(岩田大中君)
外一名提出

○副議長(關直彦君) 本日ハ議長が辭任ニナリマシタカラ、私が代シテ當席ヲ汚シマス、諸般ノ報告ヲ命シマス

(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

北海道拓殖促進ニ關スル建議案

提出者 東 武君 木下 成太郎君 高橋 直治君

内山 吉太君 小川 平吉君 日下 義雄君

福井 三郎君 小林 源藏君 中村 啓次郎君

三國港護岸施工ニ關スル建議案

提出者 熊谷五右衛門君 若杉 喜三郎君 丸山 豊治郎君

阿賀野川及小阿賀野川改修工事速成ニ關スル建議案

提出者 加藤勝彌君 佐野 喜平太君 九山 豊治郎君

市制町村制中改正法律案

提出者 石 黒 磐君

競馬法案

提出者 廣澤 辨二君

鈴木 嶽君 東 武君 吉田 定之助君

岩崎 總十郎君 日下 義雄君 田中 隆三君

志々島 藤彦君 戸狩 権之助君 小西 和君

土方 千種君 友枝 梅次郎君 清水 仁三郎君

安田伊左衛門君 森田 小六郎君 平出 喜三郎君

小山 谷藏君 原田 起城君 木村 良君

運河法中改正法律案

提出者 齋藤 珍次君

一政府 ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

自治権蹂躪ニ關スル質問(原内務大臣)

愛知縣遊廓移轉ニ關スル質問(原内務大臣)

産業振興ニ關スル質問(山本農商務大臣)

片桐海軍主計大監及太田海軍大佐ノ免官理由ニ關スル質問(齋藤海軍大臣)

(左ノ答辯書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

(別紙)

衆議院議員早速整爾君提出自治権蹂躪ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候

一 大正二年五月十三日廣島市會ニ於テ行ヒタル市長候補者ノ選舉ハ市會議員三十六人中二十七人出席シタル會議ニ於テ議事中十一人退席シ法定ノ定數ヲ缺クニ至リタルモ議長ハ催告ノ手續ヲ爲サシシテ選舉ヲ繼續シタルモノナリ是レ内務大臣カ當日ノ會議カ市制ノ規定ニ違背セルモノト認メ其會議ニ於テ執行シタル選舉ニ對シ再選ヲ行ハシムヘキノ指揮ヲ與ヘタル所以ナリ

二 大正二年五月十三日ニ開カレタル廣島市會ハ既ニ同年三月十一日市長ノ招集ニ應シテ開會シタル市會ノ繼續中ニ屬シタルモノニシテ質問主意書第二項第三項ニ云フカ如ク招集再回ニ及ヒタル場合ニ關スル規定ニ該當スヘキ事實ニ非ス

右及答辯候也

大正三年三月五日

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

内務大臣原敬

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員早川龍介君提出愛知縣遊廓移轉ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

第一 第二 第三 及 第六 質問ノ如キ事實ナシ

第五 府縣知事ノ發シタル命令ニ對シテハ官制ニ規定セルモノ、外取消ラ命スルコトナシ

第六 第七 答辯ノ限ニ在ラス

第七 第八 答辯書

衆議院議員早川龍介君提出愛知縣遊廓移轉ニ關スル質問ニ對スル答辯書差進候也

第八 第九 答辯書

衆議院議員早川龍介君提出愛知縣遊廓移轉ニ關スル質問ニ對スル答辯書差進候也

第九 第十 答辯書

衆議院議員早川龍介君提出愛知縣遊廓移轉ニ關スル質問ニ對スル答辯書差進候也

第十 第十一 答辯書

衆議院議員早川龍介君提出愛知縣遊廓移轉ニ關スル質問ニ對スル答辯書差進候也

第十一 第十二 答辯書

衆議院議員早川龍介君提出愛知縣遊廓移轉ニ關スル質問ニ對スル答辯書差進候也

第十二 第十三 答辯書

衆議院議員早川龍介君提出愛知縣遊廓移轉ニ關スル質問ニ對スル答辯書差進候也

大正三年三月五日

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

内務大臣原敬

候

衆議院議員早川龍介君提出愛知縣遊廓移轉ニ關スル質問ニ對スル別紙答辯書差進候也

別紙

衆議院議員工藤善太郎君提出産業振興二關スル答辯書

衆議院議員工薪表大良君提出正義機動ニ關する答辯書
政府ハ國運發展上產業ノ振興ヲ圖ルコトノ必要ヲ認メ現ニ大正三年度豫算ニ於テ麥品種改良畜產改良及殖林ニ關スル經費鐵材検定化學工業電氣化學工業ニ
關スル經費輸出水產物檢查臘制獸保護ニ關スル經費其ノ他製鐵所工場設備費
スマラン殖民地展覽會費等ヲ計上シ議會ノ協賛ヲ求メツツアリ尙今後財政ノ計ス
範圍ニ於テ相當計畫ヲ爲スコトヲ期ス

軍法會議ノ公開及辯護權上訴權ニ關スル質問
提出者 花井 卓藏君
多摩川流域ニ於ケル味ノ素製造場建設許可ニ關スル質問
提出者 高木 正年君
(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)
一去五日議長ニ於ニ選定シタル委員左ノ如シ
生産獎勵特別免除法案外一件

10

軍法會議ノ公開及辯護權上訴權ニ關スル質問	多摩川流域ニ於ケル味ノ素製造場建設許可ニ關スル質問
提出者 高木正年君	(左)報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)
一去五日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ	生産獎勵特別免除法律案外一件
小川平吉君	法橋善作君
武藤金吉君	松浦五兵衛君
熊谷五右衛門君	帆足隼太郎君
田中隆三君	津末良介君
齋藤宇一郎君	淺羽靖君
市川文藏君	久保通歐君
府縣制中改正法律案	吉原祐太郎君
植場	根岸嶽太郎君
武市庫	大口喜六君
横尾輝吉君	安村竹松君
日本興業銀行法中改正法律案	飛岡卯一郎君
日本興業銀行法中改正法律案外一件	柴田源左衛門君
執達吏規則中改正法律案外一件	土方千種君
田代進四郎君	山村七朗君
大島寛爾君	山本貢一君
津末良介君	松城五郎君
日本興業銀行法中改正法律案外一件	久保通歐君
佐々木文治君	森川源吾君
佐々木文一君	小林勝民君
増田順之助君	才賀藤吉君
増田鐵治君	高野金重君
早川穰三君	町田忠治君
増田義一君	藤澤幾之輔君
日本興業銀行法中改正法律案外一件委員會	小坂俊太郎君
委員長 小川平吉君	安雄君
府縣制中改正法律案委員會	高野守屋政之助君
委員長 平君	木坂慶二君
生產獎勵特別免稅法律案外一件委員會	加藤順造君
委員長 小川平吉君	清釜太郎君
日本興業銀行法中改正法律案委員會	小袖木慶太郎君
委員長 理事 才賀藤吉君	高野此助君
日本興業銀行法中改正法律案委員會	井上篤太郎君
委員長 植場 平君	田中隆三君
日本興業銀行法中改正法律案委員會	松城兵作君
委員長 理事 才賀藤吉君	高野金重君
一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ	大正明治四十五年度豫備金支出ノ件外三件(承諾ヲ求ムル件)

執達吏規則中改正法律案外一件委員會

委員長 田代 進四郎君 理事 安村 竹松君

明治四十五年度豫備金支出ノ件外三件(承諾ヲ求ムル件)委員會
大正元年

委員長

松田 源治君

理事 小坂 順造君

高野 金重君

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

自治權蹊蹠ニ關スル再質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

大正三年二月二十五日

提出者 早速 整爾

贊成者 尾崎 行雄

外三十一人

自治權蹊蹠ニ關スル再質問主意書

一大正二年五月十三日廣島市會カ適法ニ會議ヲ開キテ廣島市長候補者ノ選

舉推薦ヲ行ヒタルニ對シ内務大臣ハ此ノ會議ヲ不適法ナリト做シテ再選舉ヲ

行ハシムルノ命令ヲ下シクリ是レ明カニ違法ノ命令ナルカ故ニ本員ハ内務大臣

カ職權ヲ濫用シテ自治權蹊蹠ノ處置ヲ敢テシタルヲ詰責シ其ノ事由ヲ正サムコ

トヲ求メタリ之ニ對シテ内務大臣ハ當日ノ會議ハ市制ノ規定ニ依リ催告ノ手

續ヲ爲サス而モ出席議員定數ヲ缺キタルモノナリ從アノ會議ニ於ア執行シタ

ル選舉ハ違法ナル選舉ト認メサルヲ得サルニ因リ同市會ヲシテ再選舉ヲ行ハシム

ヘキノ指揮ヲ與ヘタルモノニシテ毫モ自治權蹊蹠ノ事實ナシト答辯シタリ然ルニ

此ノ答辯ハ事實ヲ掩蔽シ法規ヲ曲解シタル過辭ニ外ナラスト信ス内務大臣ハ

何ニ據リテ當日ノ會議カ市制ノ規定ニ違背セリト認メタル乎

二 大正二年五月十三日ニ開カレタル廣島市會ハ市制第五十二條ニ於ケル「同

一人事件ニ付招集再開ニ至リタルモノ」ニシテ其ノ前日タル五月十二日一タヒ

出席議員ノ定數ヲ缺キタリシカ故ニ議長ハ當日直ニ催告ヲ發シテ適法ニ再開

ノ會議ヲ開クノ手續ヲ爲シタリ是レ正確ノ事實ニ屬ス假ニ出席議員定數ヲ缺

キタリトスルモ招集再開ニ及ヒタルモノナル以上ハ明カニ市制第五十二條ニ於ケ

ル但書ニ該當スルモノニアラサル乎尙其ノ會議ヲ不適法ト認メタル理由如何

三 市制第五十二條ノ但書ニ於テハ「同一ノ事件ニ付招集再開ニ至ルモ仍半數ニ

満ダサルトキ又ハ招集ニ應スルモ出席議員定數ヲ缺キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ

仍半數ニ満ダルサトキハ此ノ限ニ在ラスト規定セリ乃チ同一ノ事件ニ付招集再

開ニ至ルモ仍半數ニ満ダサルトキハ議員半數以上出席スルノ限リニ在サルコトヲ

明記セルニアラスマ内務大臣ハ此ノ法文ヲ曲解シテ強テ自治權蹊蹠ノ跡ヲ蔽ハ

ムトスル乎

右及再質問候也

自治權蹊蹠ニ關スル再質問追加主意書
右成規ニ據リ提出候也

大正三年三月四日

提出者 早速 整爾

贊成者 尾崎 行雄

外三十一人

四 自治權蹊蹠ニ關スル再質問追加主意書
本日日程ニ依リ議事ハ開議中出席員定足數ヲ缺キタルヲ以テ明十二日午後二時同日程残部ニ依リ開議候條出席催告候也

此ノ催促ニ依テ更ニ會議ヲ開キタルモノナルカ故ニ市制第五十二條但書規定ニ依テ當日ノ會議ハ明ニ適法ノ會議タリシナリ内務大臣ハ何ニ由テ此ノ會議ヲ不適法ナリト認メタル乎

出席催告

右及再質問候也

愛知縣遊廓移轉ニ關スル質問主意書

第一 愛知縣ニ於ケル遊廓移轉收賄問題ナルモノハ世人ノ知ル處ナリ該移轉實行前來當時ハ原内務大臣在職中ニシテ古賀前警保局長ヲシテ内讀セシメ移轉實行計畫ヲナサシメタリトノコト果シテ然ルヤ否ヤ

第二 遊廓移轉ノ土地ヨリ生スル利益ノ内ヨリ十万圓ヲ出サシメ之ヲ一分シ五万圓ヲ警察協會ニ義捐セシメ五万圓ヲ政友會資金ニ出スコトヲ古賀氏ヨリ深野前知事ニ内約ナサシメタリトノコトアリヤ否ヤ

第三 古賀氏ト深野氏ト協議ノ上渡邊甚吉ヨリ警察協會ニ五万圓ノ義捐ヲ爲シムルコトニ付テ内務大臣ハ内許ヲ與ヘラレタルノ事實アリヤ否ヤ

第四 收賄關係ニ依テ遊廓移轉ヲ實行シ又ハ實行セムトスル深野前知事ノ行動ヲシテ内務大臣ハ探知シ能ハサリシヤ否ヤ

第五 収賄關係ニ依テ發シタル縣令ハ前例ニ照シ後任知事ニ命シ何故ニ取消ラ命セラレサルヤ如何

第六 遊廓移轉收賄事件突發ニ際シ檢事カ深野前知事拘引ノ勅裁ヲ得ムトシタルニ當リ原内務大臣ハ司法大臣ニ談シ之ヲ拒ミタリト云フ果シテ然ルヤ否ヤ

(前略)全國ヲ震動セシメタル大事件ノ巨魁深野一二ヲ檢舉スルニ就テハ高橋檢事長始メ管野檢事正小幡川淵等係檢事ハ實ニ非常ノ決心ヲ以テ事ニ臨ミシモノニシテ(中略)中央政府ヨリノ或ル干涉ニ依ルモノニシテ管野檢事正ハ其ノ爲メ上京シテ司法大臣ニ具陳スル所アリシモ大勢挽回スヘカラス大事全ク去ルノ觀アリ失望シテ歸廳シタルニ高橋檢事長ハ然ラ部下諸氏ト共ニ進退ラ賭

新聞誌ニ掲ケタル情況ヲ参考トシテ茲ニ掲グ

シテ争ハントノ決心ニテ自分始メ係リ檢事ノ辭表ヲ一括シテ懷ニシ松田司法大臣ニ面陳シ此ノ如キ的確ノ證據アルニヲ檢舉スル能ハズハ法ノ森嚴何レニ求ムヘキ罪アルモ舉クル能ハズハ檢事何ノ用アラン願クハ職ヲ辭セント辭色共ニ勵シカリケレハ法相モ理ノ當然ニ屈シ然ラハ平沼檢事總長目下西下中ナレハ

歸路名古屋ニ立寄ラシムヘシ須ラク拠合ス所アレトノコトニテ高橋檢事長ハ稍ヤ安堵シ歸名シ翌八日起訴命令カ下リタレハ直ニ召換シ同夜深更迄取調ヲナシテ七日歸省シ翌八日起訴命令カ下リタレハ直ニ召換シ同夜深更迄取調ヲナシ

シ令狀ヲ執行スルニ至リタルナリ

内務大臣ハ該件ニ對シ監督上其ノ責メアリト認メラルヤ將タ無シトセラル

第七 内務大臣ハ該件ニ對シ監督上其ノ責メアリト認メラルヤ將タ無シトセラルヤ如何

右及質問候也

右ハ會議ノ進行上書面ヲ以テ盡セルヲ以テ演説ヲ省ク仍テ各項ニ對シ書面ヲ以テ答辯アラムコトヲ望ム

片桐海軍主計大監及太田海軍大佐ノ免官理由ニ關スル質問主意書
右成規ニ據り提出候也

大正三年二月二十八日

提出者 小林勝民 黒須龍太郎 野村嘉六
賛成者 松下軍治
外八十八人

一 海軍主計大監片桐西次郎氏ノ免官理由何如
二 政府ノ太田三次郎免官ノ理由ニ對スル答辯ニ依レハ其ノ言動武官タル本分ニ背キタルニヨレリトノ事ナルカ何如ナル言動カ武官タルノ本分ニ背クモノト認メラレシヤ

片桐海軍主計大監及太田海軍大佐ノ免官理由ニ關スル質問主意書
右及質問候也

○副議長(關直彦君) 會議ニ先チマシテ前議長大岡君ヨリ挨拶ガアリマスカラ許シマス——大岡育造君

(前議長大岡育造君登壇)
(拍手起立)

○前議長大岡育造君 私ハ昨日揣ラズモ文部大臣ノ大命ヲ拜シマシテ、閣班ニ列るコト、ナリシタ、誠ニ微力重任ニ堪ヘズ恐懼ノ至リニ堪ヘマセヌ同時ニ昨日職務ノ都合ニ依リマジテ本院議長ノ職務ヲ辭退致シマシタ、直チニ御許可ヲ蒙リマシテゴザイマス、顧ミマスレバ

明治四十四年ノ十二月、諸君ノ厚き御同情ニ依リマシテ本院議長ニ御推薦ヲ蒙リマシタ、尋ニ大正元年八月改選後ノ議會ニ於キマシテ再び當選ノ榮ヲ荷ヒマシタ次第アゴザイマス、詢ニ微力短才且ツ不德ニシテ議長ノ職責ヲ盡スニ就キマシテハ、ニ諸君ノ深甚ナル御同情ニ依リ御援助ニ依ルコトデゴザリマス、殊ニ本期議會ニ於キマシテハ、屢々講場ノ紛擾ヲ見マシテ甚ダ遺憾ニ存シマスル次第アリマス、併シ是モ亦諸君ノ御同情

御援助ニ依リマシテ免ニ角議事ノ進行ヲ爲スヲ得マシタ、總て今日マテノ結果、其多クハ諸君ノ賜トシテ満腔ノ赤誠ヲ捧ゲテ感謝ヲ表シマスル次第アリマス、尙今後モ十分ノ御同情ヲ以テ御援助アランコトヲ切ニ希望致シマス、茲ニ謹シテ御挨拶ヲ申上ゲマス

(拍手起立)

○副議長(關直彦君) 長谷川敬一郎君

上ゲマス
(長谷川敬一郎君登壇)
(拍手起立)

○副議長(關直彦君) 登壇ヲ命シマス——長谷川君ノ登壇ヲ命シマス

(長谷川敬一郎君登壇)
(拍手起立)

○長谷川敬一郎君 私ハ年長者ト致シマシテ、前議長大岡育造閣下ニ一言ノ御挨拶ヲ是ヨリ申上ゲマス、此度文部大臣ニ就任セラレ、御入閣ノ爲メ議長ノ職ヲ辭セラレマシタニ付テ、唯今鄭重ナル御挨拶ニ接シマシテ恐縮ノ至リニ存シマスル、閣下ガ御在職中、就中本期議會ハ種々重大ナル問題が出來致シマシテ屢々御心配ヲ懸ケマシタガ、其都度處置宜シキヲ得テ、各派共ニ満足致シテ居リマスルノハ、全ク閣下ガ公明能ク其職責ヲ盡サレタルニ依ルモノデアルト信シマスル、吾々感謝ノ至リニ堪ヘマセヌ、尙今後幾多大問題ノ横ツテ居ルニモ拘ラズ、此度議長ノ職ヲ辭セラレマシタノハ實ニ吾々遺憾ニ堪ヘマセヌ、併ナガラ惟フニ文部大臣ノ榮職ニ就カレマシタ以上ハ、一層其技術ヲ發揮セラレマシテ、國家ノ爲ニ本院が失ヒマシクトコロヲ補ウテ餘リアルコト、信シマスル、依テ就職ヲ祝シマスルタメニ、茲ニ一言ノ御挨拶ヲ申上ゲマス

○副議長(關直彦君) 是ヨリ會議ヲ開キマシテ、日程ノ第一、議長候補者ノ選舉ヲ行ヒマス

(拍手起立)

○副議長(關直彦君) 是ヨリ會議ヲ開キマシテ、日程ノ第一、議長候補者ノ選舉ヲ行ヒマス

(書記氏名ヲ點呼ス)
(書記氏名ヲ點呼ス)

○副議長(關直彦君) 議長候補者ノ選舉ノ手續ハ先例ニ依リマス、御注意マテニ申シマスルが、投票ハ無記名ニアリマス、諸君ノ御手許ニアリマスル投票用紙ヘ候補者三名ヲ御記載下サイマシテ、必ず名刺——木札ノ名刺ヲ御添ヘ下サイマスルヤウニ望ミマス、是ヨリ此氏名點呼ヲ命ジマス

(書記官投票及名刺ノ數ヲ計算ス)

○副議長(關直彦君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ガナイト認メマス、投票函ヲ閉鎖致シマス——開函ヲ命シマス

○副議長(關直彦君) 投票ノ總數ト名刺ノ總數ト同一ニアリマス、總數ハ三百十九、此過半數ハ百六十ニアリマス、是ヨリ投票ノ點検ヲ命シマス

○副議長(關直彦君) 諸君ニ御詔リ致シマス、投票ノ中ニ長谷純孝君トアリマスノハ、長谷場君ト認メテ宜シキオザイマスカ

○副議長(關直彦君) ソレデハ是ハ有效ニ認メマス——ソレカラ山本穀ト云フ投票ガアリマスルが、議員中ニハ此名前ハアリマセヌカラ是ハ無效ト致シマス

○副議長(關直彦君) ソレカラ 岡直彦トアリマスルガ、斯様ナ人ハアリマセヌカラ是モ
無効ト致シマスガ……

○副議長(關直彦君) ソレデモ明カニ岡ト云フ字ガ書イテアリマス
〔「有效々々」異議アリト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 是ハ無效ト致シマシタ方ガ宜カラウ
〔イケマセス〕「有效々々ト呼フ者アリ」

○副議長(關直彦君) 如何ニモ明カニ岡ト書イテアリマス
〔直彦ト云フ人ハ一人シカゴザイマセヌ「無效」ト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 是ハ無効ト致シマス。ソレカラニ其方ニ 総裁長官就任一ノ件
ス、是ハ如何デゴザイマセウカ

○副議長(關直彦君) 日本ノ慣例ニ依リマスルトス様ナ氏名ハゴザイマセヌ、是ハ無
效ト致シマズカ

○副議長(關直彦君) 成ルベクハ明カニ順序ヲ正シク書イテ戴キタノアリマスカラ、純孝長谷場君ト云フノハ解釋ズレバ出来ヌコトモアリマセヌガ、後ノ慣例ニナリマスカラ

無効ト致シマシタラ如何テス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

アリマス、長谷川君ト云フノハ明カニ書イテアリマスカラ、是モ無效ト致シテ差支ゴザイマセヌカ

○副議長(關直彦君) フレデハ其通り無効ト認メマス
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 是ア投票ノ點検ヲ終リマシタカラ、唯今ノ結果ヲ御報告致シ
マス——投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致シマス

〔林田書記官長朗讀〕

六十點	花井	卓	藏君	四十七點	奧	繁	三
三十三點	村野常右衛門	君		二十七點	關	直	郎君
					彦君		

時直廣富野河長藤關伊福高根阪望菊大相
原島勘次勝浦本益木井大圭侃和澤幾晴之
義剛君郎君人君正君郎君八君介君知君治君
中君登君輔君

七

○副議長(關直彦君) 投票ヲ結果ヲ唯今書記官長ヨリ報告致シマス
(書記官投票ヲ讀上ク)

百九十一點	村野常右衛門君
百九十一點	奧繁三郎君
百二十二點	花井卓藏君
七十九點	關直彦君

〔決選投票者氏名左ノ如シ〕
二郎吉 伊藤英一郎

稻鈴清木秋小矢黑中武狩河小原井有松村田加大八關平相增中吉濱石
茂登木水村田泉島須安富野野河田上田本田中瀬竹田野島山田田
三寅隆又次郎君時敏君信三郎君龍太郎君八郎君
郎彦德君良君清君郎君
岩須神目淺小松國中添橫加渡本井才牧久田風小橋岩青地雄太郎君
藤藤黒羽寺家光野田飛邊田手賀野保川間田本下見米次郎君
嘉才孝謙貫政之助君國恆通獻君藤彦太郎君大吉郎君
勵吉一平靖君吉二郎君吉君
岩杉平箕柵小福山鶴辻横加川岡早菊小安中高尾岡石土有古村高大伊
崎山井浦瀬林田宮澤尾賀合崎川池山安田伊島橋崎部橋行新吉君
總東太郎君熊勝軍之佐君勝人君
西森水阪肥藤山野根竹片川大原三阿由輪信次郎君
本英丘野本塚善三郎君宇八君吉君寬君
平太郎君彌正覺平藏君
嘉一郎君己君嘉六君珠一君
和知君善立君虎次郎君恆之助君逸君
小路與平治君
大口喜六君
高木益太郎君
和君半介君
伊英一君
伊正年君
伊暢二君
伊恒一郎君
伊新吉君
伊千種君
伊爲之助君
伊柳覺太郎君
伊宗三君
伊仁三郎君
伊整爾君
伊此助君
伊元次郎君
伊金重君
伊松方幸次郎君
伊阿由葉館三郎君
伊虎之助君
伊義剛君
伊淳一郎君
伊直溫君
伊嘉一郎君
伊嘉六君
伊珠一君
伊幾之輔君
伊龍君

柚木慶二君 三輪市太郎君 三谷軌秀君 三浦盛徳君

三浦覺一君 三土忠造君 翠川鐵三君 光森徳治君

清水市太郎君 島田俊雄君 白川友一君 志々藤彦君

平田禎君 日向輝武君 橋口喜輔君 橋口典常君

廣澤辨二君 肥後靜雄君 森久保作藏君 森茂生君

森田俊左久君 森川源吾君 望月右内君 望月圭介君

元田肇君 關信之介君 清釜太郎君 瀬戸山清彦君

鈴木巖君 菅原傳君

○副議長(關直彦君) 決選投票ノ結果ニ依リマシテ、村野常右衛門君、奥繁三郎君、御當選ニ相成リマシタ、宮中ノ御都合ヲ伺ヒマシテ上奏ノ手續ヲ取計ヒマス

(拍手起ル)

○副議長(關直彦君) ゾ諸君ニ御報告致サナケレバナラヌコトガアリマス、本職ハ茲ニ最モ悲ムベキ報告ヲ諸君ノ前ニ提出シケレバナラヌ場合ニ立至リマシタ、外デモゴザイマセヌガ、前ノ本院議長、名聲ヲ中外ニ輝カサレマシタ本院議長デ、現任司法大臣松田正久君が一昨日薨去セラレマシタ、松田男爵ハ憲政ノ爲メ多年非常ニ御盡力ニ相成リマシタコトハ諸君ノ御承知ノコトアリマスガ、實ニ此男爵ヲ失ヒマシタノハ國家ノ大損失デアルト存ジマス、是マテ院外ノ人ニ對シマシテ院議ヲ以テ弔詞ヲ贈リマシタコトハ、國家ノ元勳若クハ社會ノ功勞者ニ對シテ贈タコトガアリマシタ、松田男爵ノ如キハ憲政ニ對スル功勞、元勳ヲ以テ見ルベキモノト信ジマスカラ、此際院議ヲ以テ弔詞ヲ呈シテハ如何デアリマセウカ、此事ヲ諸君ニ御相談致シタイノデアリマス

(拍手起ル)

○副議長(關直彦君) 御異議ガアリマセヌケレバ御参考ノ爲メニ本職ノ手許ニ於キマシテ草案ヲ作ッテゴザイマスカラ、之ヲ朗讀シテ諸君ノ御参考ニ致シマス(「謹聽々々」ト呼フ者アリ)衆議院ハ多年憲政ノタメニ盡瘁シ且本院議長ノ職務ニ執掌セラレタル司法大臣正一位勳一等男爵松田正久君ノ薨去ヲ哀悼シ特ニ院議ヲ以テ恭ク弔詞ヲ呈ス

○副議長(關直彦君) (拍手起ル) 御異議ガアリマセヌケレバ御参考ノ爲メニ本職ノ手許ニ於キマシテ草案ヲ作ッテゴザイマスカラ、之ヲ朗讀シテ諸君ノ御参考ニ致シマス(「謹聽々々」ト呼フ者アリ)衆議院ハ多年憲政ノタメニ盡瘁シ且本院議長ノ職務ニ執掌セラレタル司法大臣正一位勳一等男爵松田正久君ノ薨去ヲ哀悼シ特ニ院議ヲ以テ恭ク弔詞ヲ呈ス

○副議長(關直彦君) ソレテハ引續キ會議ヲ開キマス、報告ガアリマス

ト認メマシテ、此弔詞ヲ代表致シテ呈スルコトニ致シマス(拍手起ル)暫ク休憩ヲ致シマセウト思ヒマス

午後三時一分休憩

○副議長(關直彦君) (書記朗讀) ソレテハ引續キ會議ヲ開キマス、報告ガアリマス

議長ニ於テ議席ヲ左ノ如ク變更セリ

百六十三番 鶴原定吉君

二百一十八番 奥繁三郎君

二百二十九番 村野常右衛門君 二百三十八番 大岡育造君
二百四十八番 長谷場純孝君

○副議長(關直彦君) 日程第一、登録稅法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ

マス、委員長ノ報告秋岡義一君

(秋岡義一君登壇) 第一 登錄稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

○秋岡義一君 唯今ノ日程ノ登錄稅法中改正法律案、及ビ關直彦君外二名提出ノ登錄稅法中改正法律案ノ經過及ビ結果ヲ御報告致シマス、此兩案ニ對シマシテハ數回委員會ヲ開キマシテ質問應答ヲ盡シマシタ末、政府案ノ登錄稅法中改正法律案ニ諸君ノ御手許ニシ通じテゴザイマスル報告書ノ通り修正ヲ加ヘマシタノテゴザイマス、其修正ノ要點ハ、評價人ガ評價ヲナシタル者ニ對シテ尙ホ不服アル場合ニ、異議ノ申立ヲ地方裁判所ヘナスコトヲ得ルノ途ヲ開イタノテゴザイマス、ソレニ關聯致シマシテ第十九條ノ三以下各條ニ修正ヲ加ヘマシタ、ソレカラモウ一ツハ第十九條ノ七ノ中ニ「申告價格ヨリ少キトキハ」云々ト云フ文字ガゴザイマスノヲ「申告價格ニ超エサルトキハ」云々ト改メマシタノデ、是ハ要スルニ評價ニ要スルトコロノ費用ハ、申告價格ヨリ少イトキニ限テ申告者ガ負擔セヌマモ宜イト云フコトニナシテ居リマシタノヲ、ソレニ超エサルトキハ負擔セヌマモ宜イト云フ規定ニ致シマシタノデ、委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ可決致シ、殊ニ政府委員ハ此修正ニ對シテハ同意ヲ表サレマシタノテゴザイマス、ソレカラ本案ガ斯ノ如ク可決致シマシテ結果トシテ、關直彦君外兩名ヨリ提出サレマシタ案ハ、議決ヲ要セサルモノト致シマシテゴザイマスカラ、併セテ御報告ヲ致シマス

○中村啓次郎君 直ニ第一讀會ヲ開カシコトヲ望ミマス

○副議長(關直彦君) 御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○副議長(關直彦君) ソレテハ直ニ第二讀會ヲ開キマス

登錄稅法中改正法律案 第二讀會(確定議)

○中村啓次郎君 二讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決セラレンコトヲ望ミマス(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議、二讀會ヲ省略シテ委員長報告通り決定致シマシテ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)
○副議長(關直彦君) ソレデハ其通リ確定致シマシタ――次ハ日程第三及ビ第四、是ハ同一委員ニ付託シタル議案ナルニ付キマシテ一括シテ議題ト致シマス、御異議アリ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○副議長(關直彦君) 地方學事通則改正法律案、並ニ實業教育費國庫補助法改正法律案、是ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス――委員長戸水寛人君

第三 地方學事通則改正法律案(政府提出)

第四 實業教育費國庫補助法改正法律案

第一讀會ノ續(委員長)

(報告)

第五

(法學博士戸水寛人君登壇)

(拍手起立)

○法學博士戸水寛人君

地方學事通則改正法律案、實業教育費國庫補助法改

正法律案、此二ノ案ニ付テ御報告致シマスガ、地方學事通則ノ方ハ修正可決致シマ

シタ、

○副議長(關直彦君) 直ニ一讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

實用新案法中改正法律案

○副議長(關直彦君) 直ニ一讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ委員長報告通り確定致ルト云フコトノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 御異議ナイト認メマス、依テ本案ハ、委員長報告通り確定致シマシタ、次ハ日程第六ヨリ第九マデハ同一委員三付託ニナツテ居リマスカラ、一括シテ議題ト爲スニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 御異議ナイト認メマス、依テ本案ハ、委員長報告通り確定致シマシタ、次ハ日程第六ヨリ第九マデハ同一委員三付託ニナツテ居リマスカラ、一括シテ議題ト爲スニ御異議ハアリマセヌカ

○副議長(關直彦君) 御異議ナイト認メマス、依テ本案ハ、委員長報告通り確定致シマシタ、次ハ日程第六ヨリ第九マデハ同一委員三付託ニナツテ居リマスカラ、一括シテ議題ト爲スニ御異議ハアリマセヌカ

○副議長(關直彦君) 御異議ナイト認メマス、依テ本案ハ、委員長報告通り確定致シマシタ、次ハ日程第六ヨリ第九マデハ同一委員三付託ニナツテ居リマスカラ、一括シテ議題ト爲スニ御異議ハアリマセヌカ

酒造稅法中改正法律案(武富時敏)

第一讀會ノ續(委員長)
(報告)

ス、委員會ニ於キマシテモ多數ノ意見が同様デアリマス、即チ四案トキ其主義ニ於テハ認メマスルケレドモ、唯財源ガ子イ爲メニ本年ハ出來ナイ、追テ剩餘金ノ出マシタ時分ニ成ベク早ク之ヲ實行スルト云フ趣意ニ於キマシテ、本年限リハ否決致ス方ガ宜カラウト云

○町田忠治君 極ク簡單デゴザイマスカラ此席カラ……

○副議長(關直彦君) 御登壇ヲ願ヒマス

〔町田忠治君登壇〕

○町田忠治君 私ハ極ク簡單ニ唯今委員長ノ報告ニ對シマシテ反對ノ意見ヲ申上げゲル程ノコトハ更ニナイト思フ、且ツ先般產業獎勵基金ノ討論ニ於キマシテ、私共ハ

マス、御承知ノ通り本案ハ吾ニ同志ガ提出致シマシタ案ト、國民黨諸君カラ御提出ニナリマシタ案ヲ一括シタノデアリマシテ、大體ノ趣意ハ一緒デゴザイマス、而シテ之ヲ提出

致シマスル時ニハ、不肖私が大體ノ趣意ヲ此席テ理由ヲ申述ベマシタカラシテ更メテ申

ヤハリ此納期線下ノ理由ヲ以テ產業獎勵基金ト云フ基金制度ヲ設クルコトニ反對致シタノデゴザイマス、故ニ此所ニ詳細理由ヲ説明スル必要ハゾガイマセヌカ、單簡ニ一言

諸君ノ御参考ニ供シテ置キタインハ、此問題ハ年來衆議院ノ内外ニ於キマシテ熱心ニ希望サレ、國民モ等シク之ヲ希望シタ案デゴザイマス、唯不幸ニシテ國庫剩餘金が無

カリシ故ラ以テ、今日マテ其實行スルコトノ機會ヲ得ナカッタノデアリマスガ、幸ニモ此處ニ五六十萬圓ノ國庫剩餘金ヲ得マシタ今日ニ於テハ、一面之ニ依テ國庫ノ改善ヲ計

リ、大藏證券ノ濫發ヲ防ギ、民間金融ノ壓迫ヲ防ギ、而シテ納稅者ニハ殆ド減稅同様ノ便利ヲ與ヘヤウト云フ趣意カラ出テ居ル、唯今委員長ノ報告ニ依リマスルト、此案が無

クトモ大藏證券ノ濫發ヲ防ギ、民間金融ノ壓迫ヲ防ギ、而シテ納稅者ニハ殆ド減稅同様ノ便利ヲ與ヘヤウト云フ趣意カラ出テ居ル、唯今委員長ノ報告ニ依リマシテ、一方ニ產

業獎勵基金若クハ艦艇水雷基金ト云フ一ツノ基金制度ヲ以チマシテ、唯今一般國庫

金ヲ以テ在外ニ持ツテ居ル正貨ノ勸ギヲナサシム場合ニ於テ、初メテ大藏證券ガ五千

万圓ニ減ズルト云フ財政計畫デゴザイマス、故ニ吾ニハ此案ハ唯今委員長報告ニ通リ、

理由ト致シマスルトコロハ、主トシテ國庫ノ收支關係ヲ改善スル、即チ納期ノ繰下ラシテヒガアルノデアリマス、地租條例ノ改正案モ同様デアリマス、即チ同志會ノ方ハ何レモ二箇月繰下グルノデアリマス、ソレカラ國民黨ノ方ハ何レモ二箇月繰下グルト云フノデアリマス、其

理由ト致シマスルトコロハ、主トシテ國庫ノ收支關係ヲ改善スル、即チ納期ノ繰下ラシテヒガアルノデアリマス、地租條例ノ改正案モ同様デアリマス、即チ同志會ノ方ハ何レモ二箇月繰下グルノデアリマス、ソレカラ國民黨ノ方ハ何レモ二箇月繰下グルト云フノデアリマス、其

理由ト致シマスルトコロハ、主トシテ國庫ノ收支關係ヲ改善スル、即チ納期ノ繰下ラシテヒガアルノデアリマス、地租條例ノ改正案モ同様デアリマス、即チ同志會ノ方ハ何レモ二箇月繰下グルノデアリマス、ソレカラ國民黨ノ方ハ何レモ二箇月繰下グルト云フノデアリマス、其

理由ト致シマスルトコロハ、主トシテ國庫ノ收支關係ヲ改善スル、即チ納期ノ繰下ラシテヒガアルノデアリマス、地租條例ノ改正案モ同様デアリマス、即チ同志會ノ方ハ何レモ二箇月繰下グルノデアリマス、ソレカラ國民黨ノ方ハ何レモ二箇月繰下グルト云フノデアリマス、其

理由ト致シマスルトコロハ、主トシテ國庫ノ收支關係ヲ改善スル、即チ納期ノ繰下ラシテヒガアルノデアリマス、地租條例ノ改正案モ同様デアリマス、即チ同志會ノ方ハ何レモ二箇月繰下グルノデアリマス、ソレカラ國民黨ノ方ハ何レモ二箇月繰下グルト云フノデアリマス、其

理由ト致シマスルトコロハ、主トシテ國庫ノ收支關係ヲ改善スル、即チ納期ノ繰下ラシテヒガアルノデアリマス、地租條例ノ改正案モ同様デアリマス、即チ同志會ノ方ハ何レモ二箇月繰下グルノデアリマス、ソレカラ國民黨ノ方ハ何レモ二箇月繰下グルト云フノデアリマス、其

理由ト致シマスルトコロハ、主トシテ國庫ノ收支關係ヲ改善スル、即チ納期ノ繰下ラシテヒガアルノデアリマス、地租條例ノ改正案モ同様デアリマス、即チ同志會ノ方ハ何レモ二箇月繰下グルノデアリマス、ソレカラ國民黨ノ方ハ何レモ二箇月繰下グルト云フノデアリマス、其

虚心坦懇ニ此案ノ討議ハ貴族院ニ於ケル産業獎勵基金問題ノ確定スルマテ、延期サル、動議ヲ此處ニ提出致シマシテ、諸君ノ賛成ヲ求メス

〔「動議ニ賛成」反對ト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 町田君——動議ノ御提出デスカ

○町田忠治君 或時期マテ此可否ノ討論ヲ延期セラレント求メル

〔「委員長ノ報告ニ反對デアリマス」延期ナラバ緊急動議ダト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 緊急動議デスカ

○町田忠治君 反對ノ意味ヲ以テ……

○武富時敏君 講事ヲ延期スル動議デアリマス

○副議長(關直彦君) 緊急動議デスカ

○町田忠治君 反對ノ意味ヲ以テ……

○武富時敏君 講事ヲ延期スル動議デアリマス

○副議長(關直彦君) 緊急動議デスカ

○武富時敏君 否決モセヌ可決モセヌ、詰リ可否ヲ決セズニ議事ヲ延期スルノデアリ

○副議長(關直彦君) 定規ノ賛成ガアリマスカ

○副議長(關直彦君) 緊急動議デスカ

○武富時敏君 サウデス

○副議長(關直彦君) 聞起ル

○副議長(關直彦君) ノレテハ御諸リヲ致シマス、本問題ハ討論ヲ延期スルト云フ緊急動議ニ賛成ノ諸君ハ御起立ヲ願ヒマス

○副議長(關直彦君) 少數ト認メマス——井上角五郎君
(井上角五郎君登壇)

○井上角五郎君 諸君、酒造稅法中改正法律案、國民黨カラ又同志會カラ其納

期継下ニ付キマシテ出テ居ルトコロノ兩案ニ對シマシテ、茲ニ反對ノ趣意ヲ述べル積リテゴザイマス、國民黨ハ吉ミト財政ノ整理ニ付キマシテ根柢カラ其意見ヲ異ニスルモノア

ル、大削減、サウシテ大減稅、是が國民黨ノ意見デアツテ、私ハ茲ニ國民黨一流ノ理想

ト致シマシテ深ク其理想ニ對シテ論及スルモノデナク、要スルニ國民黨ノ爲ニ他年一日

其理想が實現セラレル日ノアルコトヲ希望シテ置クニ過ギマセヌ、同志會ニ至リマシテハ

吾ミト財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル上ニ於キマシテ、即チ一致シタル點ガアルノデアル、此同

志會カラ出テ居ル所ノ納期継下ノ問題ニ付キマシテハ、諸君ノ靜聽ブ煩シテ少シク詳

細ニ申上ゲザルヲ得ナイ、況ヤ唯今町田君が此處ニ登壇セラレテ如何ナル議論ヲサレタ

カ、此案ハ出シテハ見タが最早今日デハ立遲レアルカラ維持シヤウカ、ドウモ過日來ノ

議事ヲ重ねタ結果ニ依テハ維持ハムズカシイ、ケレドモ他ノ一院ニ於アドノヤウニナルカモ

知レヌ時ノ豫備ニ取ツテ置カウカ、斯様ナル無定見ナル(「ノウ」「ト呼フ者アリ)院議

其モノヲ考ヘザルトコロノ議論が出来ルト云フ場合ニ於テハ、私ハ少シク詳細ニ茲ニ申述ベテ見タイト思フノデアリマス諸君(「簡單々々」ト呼フ者アリ)行政整理ノ結果不剩餘金が出來タ、其剩餘ノ金額ヲ以テ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フコトニシヤウト云ノハ、

即チ大正二年度ノ歲計案ノ方針デアツタ、或ハ國庫豫備金ヲ増加シ或ハ治水費ノ繰入ヲ増加シ、又預金部カラノ繰入ヲ廢止スル、是等ノコトハ暫ラク論外ニ措キマシテ、即チ專賣局收入計算ノ打切り九百七十萬圓、ソレニ特別會計資金ノ返償六千四百萬圓、之ヲ合計シマスト七千四百三十萬圓ヲ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フコトニ用ウルノガ二年度ノ歲計案ノ方針デアツタ、吾ミハ全體ニ於テ是ニ賛成ヲ表シマシタ、但特別會計資金ノ返償ハ千四百萬圓ハ之ヲ千七百八十万圓ニ止メテ、残り四千六百万圓ハ之ヲ產業獎勵ノ基金三充ツルト云フノガ、政府ノ原案三對シテ我政友會ノ意見が異ナルトコロニアツタ、但方針ハ違ハナイ、トコロガ同志會ハ是ニ對シテ如何ナル考ヲ有ツカト云ヘバ、專賣局收入計算ノ打切りハ同意スル、特別會計資金ノ返償ハ千七百八十万圓ニ止メルト云フコトガ、政友會ト同一意見ヲ持チ、サウシテ產業獎勵基金四千六百萬圓ニ反對シテ地租ノ納期、酒稅ノ納期、是等納期ヲ繰下ケルガタメニ三千四百万圓ヲ用井ルト云フノガ、是が同志會ノ議論アル、吾ミノ議論ト一致スル點ガアルト云フノハ即チ是ニアツテ、サウシテ又是が吾ミノ議論ト甚ダシク一致シテ居ナインデアル、元來同志會ノ諸君ハ流石ニ財政ノコトニ通ズル人モ多ク、是マテ毎回議會ニ於テ、或ハ實業獎勵基金ノ委員會ニ改善シナケレバナラヌ、大藏證券ノ發行ヲ制限シナケレバナラヌト云フコトヲ、實ニ御熱心ニ、私ハ之ヲ御熱心ト云フヨリモ縱シ黨派ハ異ナルトモ、之ニ對シテ賞賛ノ辭ヲ用ユルニ客ナラヌノデアリマス、サウシテ豫算委員會ニ於テ、或ハ實業獎勵基金ノ委員會ニ於テ、町田君其他ヨリ度ニ其必要ヲ論ゼラレ、本日モ稍度ノノ議論ヲ繰返サレテ論セラレタコロノコトガ私ノ耳ニ入シタノデアル、其議論ニハ確ニ價値ノアルモノデアル、私共謹聽シタノアアル、政友會ノヤルガ如クヤルモ、政友會ノヤルガ如クト云フノハ取りモ直サズモ、其結果ハ即チ國庫ノ金融ヲ改善スル、大藏證券ノ發行ヲ制限スルト云フコトハ確ニ同一デアル、能ク其目的ヲ達スルコトガ出來ル、何方ニシテモ出來ルト云フコトニ私ハ考ヘルノデアル、此點ニ於テ一致シマス、ケレドモ更ニ一步進ンテ國家非常ノ場合ノ準備ノタメニ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニシテ置クト云フ、此國家非常ノ場合ノ準備ト云フコトハ我黨ノ意見ニ於テ始メテ之ヲ云フコトヲ得ベク、同志會ノ意見ニ是ガ全クナインデアル、諸君、國家非常ノ場合ニ備フルニ相當ノ準備が無クテハナラヌト云フコトハ、過日本院ニ於テ有森新吉君が國民黨ヲ代表シテ、獨逸其他ノ例ヲ舉ゲテ詳シク之ヲ述ベラタ、其時ノ有森君ノ態度ハ他人心アリ我之ヲ忖度スト云ハヌカリノ態度ヲ以テ御説明ニカツタノデアルカラ、私ハ國家非常ノ場合ノ準備ノ必要ヲ論ズルコトヲ止メテ、有森君ノ其時ノ御演説ヲ拜借シテ、準備ノ必要が如何ニ必要ナルカハ諸君ニ御了解ヲ願ヒタイノデアル、諸君惜ムラクハ此一點ニ於テ同志會ハ注意ヲ御拂ヒニナラヌノデアルカ、但又納期継下ト云フ言葉が何トナク町田君ノ言ハル、ガ如ク院ノ内外ニ聞ヘカ宣イカラ其方ニナサッタノカト云フコトハ、實ニ私ノ判断ニ苦シムトコロニアツ、茲ニ私ハ岸ナガラニ諸君ニ一言スルコトヲ御許ヲ願ヒタイコトガアル、ソレハ何デアル、過日町田君ハ產業獎勵基金ニ對シテ反對ノ趣意ヲ演説セラル、時ニ、斯様ニ四千六百万圓ヲ積シテ、ソレヲ在外正貨ニ所持スルト云フコトニナツタコロガ、トテモ國庫ノ收入ハ殖ヘナイゾ、即チ一年

二百万圓内外ノ金ヲ產業獎勵資金用ウルナラバ、ソレダケ國庫一般會計ノ收入ガ減ズルノデアルト云フ演説ヲサレタ、其筆記ハ茲ニ斯様ニ書イテアル「決算報告ヲ見マシタ

ナラバ此國庫金ヲ運用シテ在外正貨ヲ維持スルガタメニ年々生ジテ居ルトコロノ利息ハ二百五十万乃至二百万圓ニ上ツテ居ルト思フ此利息ハ現ニ一般ノ豫算ノ上ニ收入トシテ入ツテ居ル利子デアリマス決シテ新ニ生ズベキ利子ハナインテアリマス」ト書イテアリマス、其通リテス、少シモ違ハス、併シ新ニ四千六百万圓ヲ積シダラバ、積シダラ金ノ利子ハ其外ニアルト云フコトハ何トシテモ御否認ナサル譯ニハ往カナイ(ヒヤー)拍手起ル又「ソレが間違ヒ」ト呼フ者アリ)此様ナ譯ニアリマシテ、産業獎勵基金ハ確カニ相當ノ利子ヲ生ジテ能ク産業獎勵ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアル、サウシマシテ國家萬一ノ場合ノ非常ニ備ヘルコトが出來ルノデアル、且ツ左様ニスレバ大藏證券ノ制限モ出來ルノデアル、國庫ノ金融ハ(根柢ニ於ア誤レリ)ト呼フ者アリ)酒稅、地租ノ納期ヲ繰下角モ豫算會議ニ於キマシテ——産業獎勵基金ノ特別會議ニ於キマシテ、最早同志會ノ提案ナル財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルノ案ハ潰レテサウシテ吾ミノ主張スルモノガ成立シテモ尙且ツ免カレ難キハ所謂智者ノ一得(笑聲起ル)智者ノ一失、實ニ同君ノタメニ之ヲ惜マザルヲ得ナイノデアル(君ハ財政ノコトヲ演説スル資格ハナイ)ト呼フ者アリ)免モコトハ、御了解ニナルベキコトデヤラウト思フ、加之酒造業者其者ノ利害ノ上カラ考ヘテ大ニ研究シナケレバナラヌトコロノ點ガアルノデアル、酒稅ナルモノハ初メ定メタ時ハ餘り高クナカッタ、段々トナカヽ速力方以テ今ヤ一石二十圓ト云フガ如キ重キ稅ニナツテ居ルノデアル、從ツテ其間當業者ヨリ、又其他ヨリヨロヽ注文ガ是ニ對シテ出タ、第一ガ即チ津引ケト云フノデアル、第二ガ即チ貯藏減リ、此三ツニ付テノ長イ間ノ議論ガアリマシテ、營業者ハ要求シテ居ルノデアル、吾ミ政友會ニ於キマシテハ、此點ニ付テハ年々研究ニ研究ヲ重ネテ居ル、殊ニ本期議會ノ如キハ相當ニ各種ノ減稅ヲ行ツタノデアルカラ、又此點ニ付テハ研究ヲ致シテ居ルノデアル、第一ノ津引ト稱スルノハ、津引減量ハ丁度酒稅ガ段々ト高クナツテ一石十七圓ニナリマシク時ニ、百分ノ二ダケ津引減量ヲスルト云フコトニ極ツテ居リマス、是ハ既ニ過ぎ去タ問題テアル、第一ノ納期繰下ト云フ問題ハドノヤウニナツテ居ルカト言ヒマスルト、元來明治十七年ニハ四月、九月ニ酒稅ヲ拂シテ居ツタ、ソレガ十三年ニ改正セラレ、二十年ニ改正セラレ、二十二年ニ改正セラレ、二十九年ニ改正セラレタノハ七月九月一月三月トスウナツテ居ル、三月ニ酒稅ヲ取ルト云フコトガ始マツタノハ一十九年デアリマス、此三月ニ酒稅ヲ取ルト云フコトが始マツタ時ノ衆議院ニ於テノ議論ハ當時此——其席ニ在ラシヤツタ御方ガアルナラバ願クバ回顧セラレタイ、即チ私が承知シテ居ルトコロテ言ヘバ、凡ソ酒ト云フモノハソレハイロヽ造り方モアル、一口ニハ言ヘナイケレドモ先ツ中八九一十中八九マデハ十月新米ノ——新ラシキ米ノ出始メカラ造り上ゲテ、十一月十二月一月一月三月ト云フ是ダケニ造り上ゲテ、サウシテ二月ノ末、四月ノ始メハ新酒——新ラシ酒ヲ賣出ス、古キ酒ハ其前既ニ賣テシマフノデアルカラ、酒屋ガ酒ヲ賣シテ既ニ買人ノ手ニ酒ヲ渡シテシマフノハ、大概二月遅クモ二月ニハ終ルノアルカラ、三月迄延ベテ吳レバ酒屋ハ非常ニ仕合セデアルト云フノガ、二十九年ニ納期ノ終ヒラ三月ニシタ原因デアリマス、其後ニナツテ尙ニ十二年ニモ改正シマシテ、此時ノ改正ハ七月、十月、一月、三月ト改正ニナツテ居リマス、此年度ノモノハ最初ハ四月、九月ニ取ルテ居ツタモノヲ今

日ハ最終ヲ三月ニスルノガ、トゞノ改正ノ結果酒稅ノ現狀デアル、若シ此二月ヲ更ニ繰下ゲルト云フコトハ、最早租稅ヲ取立テル其性質ノ上カラ繰下ゲルト云フ言葉ハ言ヘナシノデ、其年度ノモノヲ——四月、九月ニ取ルテ居ツタモノノ年度ノ最終ノ三月迄取ルコトニシタノデアルカラ、是ニ反シマシテ貯藏減量ナルモノハドノヤウナ有様デアルカ、即チ第ニニ論ズベキモノハドノヤウナモノデアルカラカト云ヘバ、是ハ大概諸君モ御承知デアリマセウガ、酒造業者ニモ巧拙ガアツテ、上手ナ者モアリ下手ナ者モアリ、又酒ノ性質ニモ善惡ガアツテ一定スルコトハ出來マセヌケレドモ、先ツ均ラシ火入減リ、其他貯藏シテ居ルガ爲メニ段々ト酒ノ分量ノ減リマスノハ百分ノ三、是ガ先ツ通例、多キハ百分ノ五減ルノデアル、酒屋ガ酒ヲ造ツテノラ賣出サウスル時ニ一石二十圓ノ稅ヲ掛ケラレル、例ヘヤ米ヲ一石仕人マシテ酒ガ一石五斗出來ル、左様ナ見込テ一石ノ米ヲ仕入レタニ對シテ、酒ガ一石五斗出來ルカラト云フノデニ二十圓ノ稅ヲ掛ケラレル、貯藏減リノタメニ稅ヲ割引キ升ニナル、或ハ其前後ニナツテ來テ全ク稅ヲ掛ケラレタ其酒其モノハナイゾレヲ相變ラズ取テレテ居ルノハ甚ダ困ルカラ之ヲ改正シテ貢ヒタイト云フコトハ長年ノ懸案デアリマスガ、私ハ此方ハ餘程道理ガアル、ソレノミナラズ納期ノ改正、貯藏減量ノタメニ稅ヲ割引キスルト云フコトノ利害ヲ一ツ考ヘテ御覽ナサイ、納期ヲ改正スルノハ成程先キニモ言ラケレドモ之ラ金ノ上デ計算シマスレバ、酒稅ノ納期ヲ延ベルノガ一千一百萬圓——一千二百萬圓ノ假リニ月一割ノ利子、言換ヘレバ年一割二分ノ高利ヲ拂フトシタトコロテ、一箇月延ベルト云フコトガ二十二万圓ニ過ギナイ、全國ノ酒屋一万四五千ノ受ケルト云フコトハ有ラレル、ナニ出スモノハ何デモ延ベルガ宜イ、延ベルコトノ利益ハ認メラレル、ケレドモ之ラ金ノ上デ計算シマスレバ、酒稅ノ納期ヲ延ベルノガ一千一百萬圓——一千二百萬圓ノ假リニ月一割ノ利子、言換ヘレバ年一割二分ノ高利ヲ拂フトシタトコロテ、テノ割引ハ百分ノ一割引スルトスレバ是ガ九十万圓、百分ノ二割引スルトスレバ是ガ百八十万圓、若シ全國テ貯藏減量ハ均シ百分ノ三位ニ當ツテ居ルト云フ、ソレヲ全部コロノ金錢上ノ利益カラ云ヘバ二十二万圓ニ過ギナイ、之ニ反シテ貯藏減量ニ對シテノ割引ハ百分ノ一割引スルトスレバ是ガ九十万圓、百分ノ二割引スルトスレバ是ガ百八十万圓、若シ全國テ貯藏減量ハ均シ百分ノ三位ニ當ツテ居ルト云フ、ソレヲ全部割引ラストレバ二百七十萬圓、唯一年一度限リ一千二百萬圓ノ金ヲ一箇月延べテレタ利益ト、斯様ニ有リモシナイト云フモノニ向ツテ酒ノ稅ヲ拂シテ居ルト云フ、此稍シ稱シテ不當ト云フベキモノヲ免レルノガ、百分ノ一減ゼラレルト九十万圓デアルト云フト、其損其得ハ當業者ガ能ク之ヲ知ルコトデアリマス、斯様ニ論シ來レバ、國庫ノ財政ヲ鞏固ニスルトスル問題ハ姑ク外ニ措キマシテ、酒稅ノ改正ト云フ問題ニ付テ研究スベキモノガ必ズシモ納期ノ繰下ニ限ラナイト云フコトハ、自ラ御了解ニナルコト、思フ、本年ハ大正二年ノ歲計案ニ依テ、財政ノ基礎ハ免モ角モ鞏固ニセラレマシタ、尙併セテ各種ノ減稅其他ノモノヲヤリマシタ、殊ニ地租ノ如キハ些少ナカラモ之ヲ減額シマシタカラテ、地租納期ノ改正ニ付テ之ヲ否決スルノハ其納稅者ノ諦メモ付クデアラウ、酒稅其モニ付テハ各種ノ減稅ヲ爲シタニモ拘ラズ、何等其恩典ヲ受クルコトハ出來ナイト云フコトハ、多少當業者ニ氣ノ毒ナコトデハアルケレドモ、是ハ國家ノ事必ズシモ其一部分ノ議論ノミヲ聞クベキデナク、一部分ノ有様ノミヲ考ヘキデナク、廣ク全國ノ有様ヲ考ヘ、廣ク全體ノ當業者ノ状態ヲ調ベテ、須ク最モ苦痛トスルモノヨリ先キニ之ヲ除カナケレバナラヌカラ、酒稅ニ對シテ何等此機會ニスルコトノナカツタノハ、私共ニ於テモ甚ダ氣

ノ毒ニモ思ヒ、遺憾ニモ感ズルノアリマスケレドモ先キニモ言フガ如ク、我政友會ニ於テ
モ相當ニ研究シテ居ルノアル、大正四年度ノ歲計案ハ果シテ如何ナル形ニ於テ現レ來
ルデアラウカ、政府ハ今ヤ行政整理ハ一段落ヲ告ゲタトハ云フケレドモ、豫算委員會ニ
於テ度ニ尙ホ遣レルタケハ遺ルト云ヅテ居ルノアルカラ、當業者モ此點ニ付テハ了解ス
ル所アツテ然ルベキデアラウト思フ、免モ角モ行政整理ヲ爲シタル第一ノ手段トシテ、財政
ノ基礎ヲ鞏固ニスルコトハ大切デアル、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルが大切デアレバヨソ、吾ミ
ハ政府案ノ意思ヲ贊成シテ、我政友會ノ意見ヲ今ヤ行ハントシテ居ルノアル、是ダケ
ノ事柄ハ町田君ノ所謂他ノ一院ニ於テモ自ラ了解セラレルコトデアツテ、殊ニ他ノ一院ニ
於テハ其人多ク、能ク財政各般ノ事ニ通シタ人が多クテ、且ハ甚ダ冷靜ニ唯國——國
ト云フ觀念ヲ持テ居ル人が多イノアルカラ、私共ノ言ヲ俟タズモ勿論了解セラレテ
居ルコトデアルト思ヒマスカラ、御遠慮ナク——私共ハ遠慮セズシテ本案ヲ否決シテ然ル
ベキデアラウト思ノ、是ダケノコトヲ申上ゲテ置キマス

(拍手起立)

○副議長(關直彦君) 高木正年君

(拍手起立)

○高木正年君 私ハ極ク簡單ニ井上君ノ御演説ニ對シテ御答ヲ致シテ提出案ノ維

持ヲ致シテ置クノアリマス(「簡単贊成」ト呼フ者アリ)井上君が長イ間ノ御演説ガアリ
マシタガ、要スルニ井上君ハ酒造稅ノ納期延期ニ反対ナサル苦痛ヲ御訴ヘニナツタノデア
リマス、寧ロ此法案ニ反対スル理由ト言ハシヨリハ、反対スル苦痛ヲ繰々御陳辯ニナツタ
ト私ハ承ハツクノアリマス、私共が出シマシタ提案ハ、一昨年當議場ニ黃金井爲造君ヨ
リ紹介セラレタ政友會諸君ノ提出ノ案ト少シモ違ハヌノアリマス、又地租ノ納期繰下
ハ本年新ニ出タ問題ニアリマス、此兩案ガ若シ提出ノ當時ニ於テ此演壇ニ論辯ヲ試ミ
マシタナラバ、井上君ノ御演説ハ今日以上ニ御苦痛デアツト思ハネバナラヌ、テアリマ
ス、唯今幸ニモ井上君等ノタメニ彼産業資金ナルモノ、四千六百万圓ノ支途が確定シ
タクメニ、此演壇ニ立テ酒造稅ノ改正ニ反対ヲ爲サルト云フ理由ヲ發見ナヌタス
様ニ考ヘネバナラズ、ヤリナガラ我國ノ財政狀態ハ斯様ニマテ行詣ツテ居ラヌノアリ
マス、此問題ニ對シマシテ如何ナルコトヲ申スノカ正當アルカト云フト、謂ハバ今日ニ於
テハ財源論デアル、納稅ヲ繰下ゲルト云フコトハ政友會ノ諸君モ必ず反対ハナラヌノ
アリマス、唯不思議ナハ黃金井爲造君が提出セラレタ時モ尙政友會ノ諸君ハ財源
謂手腕ノ如何ニ依ルノアリマス、此問題が提出セラレタ時モ先キニモ言フガ如ク、我政友會
ニ於テ論議セラレタナラバ、剩餘金問題ハ未ダ決セズニアツクノアリマス、豫算ハ未ダ確
定セズニアツクノアリマス、此時ニ方策ヲ、政友會ノ諸君ノ態度ヲ見タカツシナルガ、
政友會諸君ノタメニハ幸ヒニモ是ノ問題が決シテ居ル、併シ之ヲ以テ納期ノ繰下ガ
出來ナイト云フコトハ、憾ラクハ政友會諸君ノ財政上ニ於ケル御手腕如何疑ハナケレバ
ナラヌノアリマス、現ニ大正二年ノ歲入ノ狀態ハドウナラテ居リマス、海關稅ニアツテモ

十二月末日ニ於テ既ニ豫算ニ定タルコロノ三千七百萬以上ニ超過シテ居ルトコロ
ノ歲入ノアルト云フコトハ、既ニ豫算委員會明カニナツテ居ルノアリマス、一月モ過
ギ、二月モ過ギ、三月モ稍半ニ達セントスル今日ニアツテ、關稅ノ上ニ於テモ、二年
度ニ於テモ二千万元以上ノ歲入ノ超過シアルト云フコトハ最モ明白ケノ事實トナシテ居ルノ
アリマス、其他一般ノ歲入ニ付テモ、所謂官業ノ收入總額ノ經常歲入ノ上ニ於テ一
千万以上ノ增額がアルト云フコトハ分ニテ居ル、又豫算ノ上ニ付テ不要額ノ多キアルト云
コトモ亦分ニテ居ル、元來此案ハ先刻町田君ノ言ハレタ如ク、財政ノ調節ノタメニ、國
家ノ收支ヲ完クスルト云フ意味ニ於テ、第一ニ是等ノ要求ノタメニ此案ノ改正ヲ求ムル
ノアル、第二ハ當業者ヲシテ益其業務ヲ發展セシムルト云フコトノ利便ヲ圖ルト云フ
コトガ、第二ノ理由ニナツテ居ルノアル、國家ノ收支ノコトニ付テハ新タニニヲ言フ必
要ハナインデ、當業者ノ便益ト云フコトガ酒造稅ニ於テハ寧ロ稅源涵養アル、井上君
ハイロノ、辯明セラレタケレドモ、所謂酒ノ津糟ノコトノ如キハ、此案ニ反対スル御理
由ハナインデアリマス、若シ津糟ヲ去ルト云フコトガ酒造稅改正ノ一理由アルト云フ
ナラバ、二讀會ニ於テ之ヲ修正ナサレバ宜シノアリ、此金額僅カニ二百万圓、些
細ノ金ニアリマス、之ヲ修正ナサレバ宜イガ、此問題ヲ擧ギ出シテ何カ此案ノ缺點ノヤウ
ニ仰セラレルノハ、所謂此案ニ反対スル理由ナキニ苦シテ殊更ニ長キ演説ヲ試ミラレタ
私ハ解釋シテ居ルノアリマス、御苦心ノ程實ニ御察シ申上ケル、斯ル國家ノ財政上ノ
調節ノ爲ニ必要ナルモノニ向テ反対ヲスルノアル、洵ニ御察シ申上ケル、所謂財政ノ
手腕財政ノ眼ノ著ケ所ニ依テハ此案ノ通過ハヤサシイノアル、地租ノ納期ノコトニ付
テハ如何デアリマスル、一體農家が米ヲ暮ニ穢入レテ之ヲ或適當ナ時期ニ至ツテ納稅ヲ
シ、且翌年度ノ肥料ノ買入レ其他ヲ便スル上ニ付テハ、之ヲ一時ニ金ニスルト云フコト
ハ所謂米價ヲ引下ケルトコロノ確カナル一原因トナルノアリマス、四十一年ニ米價が
非常ニ下落シタ、下落シテ米が廉シ幾ラ賣ツテモ足リナイカラ、殘ラズ賣ラナケレバナラヌ
ト云フタメニ、益米價が下落シテアリマス、此ニ於テ稅期ヲ成ルダケ延ハシテ、サウ
シテ此間ニ於テ米ヲ賣ルト云ノ季節ノ適當ナル時ヲ選ハシメルコトハ、農家ノ經濟ヲ助
ケル上ニ於テ頗ル是ハ好キ手段デアリマス、此點ニ於テ地租ノ納期ノ繰下ヲ爲スノデア
リマス、唯今申上ゲルガ如ク一年度ノ財政ノ狀態が歲入既ニ超過アリト云フトキニ、若
シ政府ガ之ヲ爲スノ心持ガアリマスナラバ、決シテ之ヲ爲スコトノ無理アナイコトハ分ニテ
居ル、唯斯様ニ申上ゲマスルト、未ダ一年度ノ歲計ノ收支ハ三月ノ月一杯杯アハ分ラヌ
ノアリマス、幾許カ此間ニ時間ガナケレバ、餘ルカ餘ラヌカガ決算ガ付カヌノアルト
シアリマス、唯今申上ゲルガ如ク一年度ノ財政ノ狀態が歲入既ニ超過アリト云フトキニ、若
シ政府ガ之ヲ爲スノ心持ガアリマスナラバ、決シテ之ヲ爲スコトノ無理アナイコトハ分ニテ
居ル、唯斯様ニ申上ゲマスルト、未ダ一年度ノ歲計ノ收支ハ三月ノ月一杯杯アハ分ラヌ
ノアリマス、幾許カ此間ニ時間ガナケレバ、餘ルカ餘ラヌカガ決算ガ付カヌノアルト
シアリマス、唯ノ剩餘金トヤハリ少シモ性質が變ラヌノアリマス、此間ニソレヲスレバ
タコロノ產業資金ヲ、一時ニ一年度中ダケ流用スルコトハ少シモ差支ナイ、產業資金ノ
如キモ二年度ニ於テ初メテ費途ノ極マルモノアリマス、一年度ニ於テ之ヲ使用スルコト
ハ少シモ——唯ノ剩餘金トヤハリ少シモ性質が變ラヌノアリマス、此間ニソレヲスレバ
直ゲ四月ニハ地租が這入シテ來マス、私共ノ案デアリマスルト酒ハ五月、新政黨ノ案ハ
酒ハ四月デアリマス、先刻委員長ノ言ハレタ通り、斯様ナコトデアリマスカラ此間ニ左マ
デムツカシイ心配モムツカシイ手數モ要ラナイノアリマス、更ニ政友會ノ諸君ニ申上ケ
テ置キマスガ、斯様ニ申上ゲタナラバ一年度ノ歲入ハ左マテ多イト云フコトハ、今日マダ
確定シナイカラ無理アルト云フ御説アルナラバ、此案ヲ二讀會ヲ開カシメテ、二讀會

第十 國有土地森林原野下戻法中改正法 第一讀會ノ續(委員長 律案(岡田泰藏君提出))

○則本由庸君 私ハ極メテ簡單ニ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、此改正

案ノ條項ハ現行規則ノ「第一條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ前項ノ土地森林原野ニ
於テ主產物ヲ採取シタル者ハ所有ノ事實アリタルモノト見做ス但シ他ニ所有者アリト認

ムキ證據アルモノハ此限ニ在ラズ」尙「第一條第二項中「前項ヲ「前一項ニ改ム」「第

一條第四號中「分收ヲ「收得ニ改ム」斯ウニテノアリマス、提案ノ理由ト致シマス
ル所ハ、現行ノ下戻法ハ元來國有林野社寺上地處分ニ際ニ極メテ杜撰ノ取調ヲナシ

テ各持主ノ權利ヲ害シテ居ルカラ、之ヲ相當ノ方法ヲ以テ救濟スルト云フノデアルガ、爾

來此法律ノ施行ヲ致シマシタル結果ニ付テ見マスト云フト、農商務省ノ取扱ア居リマ
スル處分が甚ダ穩當ヲ缺イテ居ル、尙ホ行政裁判所ノ裁判ノ理由ニ至リマシテモ、此法

律ノ精神ヲ無視シテ居ル點ガアルカラ、即チ斯ノ如キ改正案ヲ提起致シマシテ、爾來當

業者ノ權利ヲ十分ニ確保シタイト云フノ案デゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ總員ノ御

出席ヲ得マシテ、而シテ滿場一致ヲ以テ可決致シマシテゴザイマス、尙ホ詳細ノ理由ノ
如キモノハ、提案者岡田君が先日此壇ニ於テ詳細御述ヘニナツテ居リマスカラ、略シマシ
テ、私ハ滿場ノ御賛成ヲ願ヒマス、此段御報告致シマス(拍手起ル)

(政府委員岡本英太郎君登壇)

○政府委員(岡本英太郎君) 甚ダ遺憾デゴザイマスケレドモ、本案ニハ反對デゴザイ
マス、其理由ト致シマシテ本案ノ改正案ニ依リマスレバ、森林原野ニ對シマシテ單ニ主
產物ヲ伐リマシタ云フコトノミヲ以チマシテ、直チニ所有ノ事實アリタルモノト看做シマ
シテ、其森林原野ヲ下戻スト云フコトデゴザイマス、是ハ甚ダ當ヲ得ナイコト、存ジマス、
又明治三十二年法律第九十九號ニ依リマシテ、下戻申請ニナリマシタ數ハ實ニ二万
六百七十四件ニナツテ居リマシテ、其處分ハ既ニ了り、今日ハ現ニ行政裁判所ニ係屬
致シテ居ルモノが僅ニ一百二十餘件ゴザイマス、此改正案ニ依リマスレバ、此僅少ナル裁
判所ニ係屬シテ居リマスモノ、ミニ適用セラル、コトニナリマスガタメニ、大多數ノ處分
ヲ致シ、又判決済ニナリマシタモノニ對シマシテ、甚ダ不權衡又不公平ノコト、存ジマ
ス、旁々本案ニハ反對デゴザイマス

○中村啓次郎君 直チニ二讀會ヲ開キ二讀會ヲ省略シテ委員長報告通リニ確定セ
ミラレムコトヲ望ミマス

○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ノ直チニ二讀會ヲ開キ二讀會ヲ省略シテ委員
長報告通リ確定シタクトヲニ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」と呼フ者アリ)

國有土地森林原野下戻法中改正法律案

第一讀會(確定議)

○副議長(關直彦君) 御異議ガアリマセヌケレバ直ナニ 第二讀會ヲ開キ 第三讀會ヲ
省略シテ委員長報告ノ通リニ決定致シテ差支アリマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」と呼フ者アリ)

○副議長(關直彦君) 左様ナラバ委員長ノ報告通リニ本案ハ 可決確定致シマシテ、
ソレデハ暫ク休憩致シマス

午後四時五十五分休憩

午後五時二十五分開議
○副議長(關直彦君) 休憩前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、是ニ於テ御紹介ヲ致
シマス、長谷場純孝君唯今議長ニ勅任アリマシタカラ、諸君ニ御紹介ヲ致シマス(拍手
起ル)

(議長長谷場純孝君登壇)

(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 諸君、私ハ唯今議院法ノ第三條ニ依リ衆議院議長ヲ拜
命致シマシタ、私ハ曩ニ第二十五回ヨリ第二十七回議會ノ間、此重職ヲ演シタノデゴ
ザリマスガ、再ヒ諸君ノ御推薦ニ依リ本職ニ就キマスノハ洵ニ光榮トスル所デゴザリマス、私
ハ公平ニ誠實ニ其職務ニ從事致シマシテ、諸君ノ御厚意ニ對スル考デゴザリマス、諸君ニ
於テモ一層ノ御同情ト御援助ヲ與ヘラレントコトヲ希ヒマス、茲ニ一言ヲ述べテ御挨拶
ヲ申上ゲマス

(拍手起ル)

(副議長關直彦君退席議長長谷場純孝君議長席ニ著ク)

○議長(長谷場純孝君) 長谷川君
(長谷川敬一郎君登壇)

(拍手起ル)

(副議長關直彦君退席議長長谷場純孝君議長席ニ著ク)

○長谷川敬一郎君 諸君、私ハ年長者ノ故ヲ以テ再ヒ此演壇ニ登リマスルノハ、如何

ニモ恐縮ニ堪ヘマセスケレドモ、暫時拜借ヲ致シマス、議長長谷場純孝閣下ノ御挨拶
ニ對シテ一言申上ゲマスル、此度閣下ハ絶對多數ノ推薦ニ依テ、大岡君ノ後任トシテ
議長ニ御任命ニナリマシタ、吾ミ一同ノ欣幸トスル所デゴザイマスル、閣下ニハ既ニ前年
來御經驗モアラセラレマスルコトデゴザイマスルカラ、議長ノ職責ヲ全ウシ、憲政ノ發展ニ
付テ一層ノ光彩ヲ添ヘラル、コトハ一點ノ疑ヲ容レサル所デゴザイマス、茲ニ私ハ御當選
ヲ祝シ、御挨拶トシテ一言ヲ述ベマスル

(拍手起ル)

午後五時二十一分散會

衆議院議事速記録第十八號正誤

頁	段	行	誤	正
三七八	上	四一	借入金ニ依	借入金ニ依
			ラズシテ	

衆議院議事速記録第十九號正誤

頁	段	行	誤	正
三九八	上	一二	二年度	元年度
			開會進行ニ	開會進行ニ
四〇九	欄外	第一讀會ノ	議事進行ニ	議事進行ニ
四一七	下	三九	議長	議長
			九字ヲ加フ	九字ヲ加フ
			第一讀會ノ	第一讀會ノ
			第三讀會	第三讀會